

# 建設業経営者研修 生産性革命と経営力向上

## ～経営で活かすBIM/CIM 建設業に不可欠なVR/AR～

令和2年

# 2月21日 金

10:30-17:00 (受付10:00～)

対象

中小建設業経営者、経営後継者、経営幹部の方

会場

(一財)建設業振興基金501会議室

受講料

15,000円(税込)

■ 10:40～12:00

「BIM/CIMを活用した生産性革命を経営に活かすには」

**矢吹 信喜 氏**

■ 大阪大学大学院工学研究科 教授

BIM/CIMは3次元モデルの「見える化」により、協議打合せや住民説明の円滑化、干渉などのミスの発見、数量の自動算出など様々なメリットがあります。さらには、設計・施工・維持管理のプロセスを統合することで飛躍的なコスト削減や工期短縮、品質向上の可能性を秘めています。BIM/CIMを経営に活かすことが望まれます。



■ 13:00～13:50

「中小建設企業によるCIMとVRの利活用（土木、測量）」

**原田 英司 氏**

■ 株式会社加藤組 取締役土木部長

国土交通省は、i-Construction大賞を実施するなど積極的にICT土工やCIMを推進しており、今後は自治体や中小企業にもその影響が及んでくると思います。CIM等に取り組むには、設備投資や人材育成が必要になるため、経営判断が要求されます。中小建設企業である弊社の取り組み事例について紹介させていただきます。



■ 13:50～14:40

「デジタル化が中小建設業の業態を変える（建築、設備）」

**新井 孝雄 氏**

■ 株式会社ヤマト 代表取締役会長

建築物を建築製品という概念で考えると、生産システムのデジタル化は購入するお客様にとって、調達からオペレーション・資産管理に至るまで、極めて有効なツールとなります。また供給側にとっては、デジタル化は生産プロセス改革が画期的に進み、品質向上と施工の機械化の必須条件となります。このような視点から、当社の取り組みについて説明させていただきます。



■ 14:50～15:35

「最新の技術動向」

BIM/CIMなどデジタル化の流れを的確に経営に取り込むには、目的に適したハードウェアやソフトウェア、職員の教育研修などの投資が不可欠です。最新の技術動向について先進各社から紹介・解説していただきます。

■ オートデスク株式会社  
■ 川田テクノシステム株式会社  
■ 福井コンピュータ株式会社

■ 15:50～16:50

パネルディスカッション「デジタル時代の経営とは」

全国的にCIM要員育成に尽力されている八千代エンジニアリングCIM推進室長 藤澤 泰雄 氏 にご登壇頂き、講師3名と共にパネルディスカッションを行います。BIM/CIMなどのデジタル化がなぜ必要なのか、自社のデジタル化を推進するための課題は何か、課題解決のため経営者や管理者、技術者が取り組むべきことなどについて、有意義な討論を行っていただきます。

■ 17:00～19:00

交流会

講師をはじめ全国から集まる参加者同士が、率直な意見交換ができ、ネットワークを広げる場として好評をいただいております。

技術動向の講演でご紹介した  
技術を体験できるコーナーを開設いたします。

お申込方法



申込用紙に必要事項をご記入の上、FAXでお申し込みください。  
定員になり次第締め切らせていただきます。裏面もご利用ください。

主催・お問合せ先

(一財)建設業振興基金 経営基盤整備支援センター  
TEL 03-5473-4572 / FAX 03-5473-4594

募集定員に達しましたので、お申込みを終了いたしました。

※ご記入いただいた情報のうち、ご氏名・会社名・所在地(都道府県名)は、リストとして参加者に配布させていただきます。  
また、個人情報 は当研修の運営・管理・次回の研修の案内に利用させていただきます。あらかじめご了承ください。

**対象者** 中小建設業の経営者、経営後継者、経営幹部の方

**受講料** 15,000円 (税込み・昼食代・交流会費込み)  
※ 申込FAX受付後、数日以内に振込先をご連絡いたします。

**会場** 建設業振興基金501会議室  
東京都港区虎ノ門4丁目2番12号 虎ノ門4丁目MTビル2号館

**定員** 50名 (定員になり次第締め切らせていただきます)

**宿泊** 宿泊が必要な方は各自ご手配ください。

**お申し込み** 上記様式にご記入の上、  
FAXにてお申し込みください。

